

**第1 日時** 令和5年10月5日(木) 午後1時30分～午後3時30分

**第2 会場** 石巻市役所5階 501会議室

**第3 出席委員** 10名

## 第4 会議概要

### 1 開 会

### 2 答 申

会長から市長代理の渡邊副市長に対して諮問事項「下水道接続の促進策について」に対する答申書が提出された。

**会長)** 頂戴した諮問につきまして、当審議会で議論し、適当であるとの結論になりましたので、答申書をお渡しいたします。なお、付帯意見がございまして、委員の様々な意見を事務局へお伝えしております。よろしくお願ひいたします。

**渡邊副市長)** ありがとうございます。付帯意見も踏まえ、今後の手続を進めてまいります。本来なら、市長が諮問しましたので、本来は市長が出席すべきところですが、ほかの公務がございまして、こちらに出席できかねましたので、私が代理で出席させていただきました。市長から挨拶文を預かってまいりましたので、読み上げさせていただきます。市長の挨拶とさせていただきますと思います。

「答申を頂戴しましたお礼を兼ねまして、一言、御挨拶を申し上げます。ただいま、審議会会長の石巻専修大学岡野先生から、本年1月に諮問いたしました『下水道接続の促進策』に対する答申をいただきました。岡野会長様をはじめ、委員の皆様におかれましては、公私ともに御多用の中、お集まりいただき、慎重かつ活発なる御審議を賜り、本日、答申をいただきましたことに、心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

下水道への接続については、経済的な事情や家屋の後継者事情など、個々人が抱える事情もあり、全ての未接続を解決するのは難しい面がございますが、今回いただきました答申を踏まえ、一人でも多くの皆様に下水道へ接続していただけるように、鋭意取り組んでまいります。

なお、今後は、下水道事業の経営戦略の改訂に向けた御議論をお願いすることを予定しております。人口減少に伴う下水道使用料収入の減、震災後に新たに建設した施設の維持管理経費の負担増、さらには、震災前に整備した施設の長寿命化事業など、下水道事業の経営へ与える影響が懸念される課題がありますが、こういった課題に向き合いながら、中長期的な視点で、持続的な健全経営を図るため、委員皆様方の御見識を賜りながら、本市の下水道事業の経営戦略の改訂を進めてまいりたいと考えております。

つきましては、会長様はじめ、委員の皆様方におかれましては、引き続き、御審議、御指導を賜りますようお願い申し上げます。御礼と御挨拶とさせていただきます。

令和5年10月5日 石巻市長 齋藤正美

代読でございました。今後どうぞよろしくお願ひいたします。皆様どうもありがとう

38 ございました。

39 **3 報告事項**

40 **(1) 令和5年度第1回審議会概要**

41 **※資料の配布により報告**

42 **(2) 下水道事業会計の決算について**

43 会長) ここからは、私が会議を進行してまいります。会議が円滑に進行しますように 皆様  
44 方の御協力をお願いいたします。次第4「報告事項」の2つ目でございます。下水道事業  
45 会計の決算につきまして、事務局から説明をお願いします。

46 **※資料に基づき事務局説明※**

47 会長) ただ今の事務局の説明についてご質問等ございましたら、挙手をお願いします。

48 委員) 資料の3ページに営業外費用 (2) 雑損失、農業集落排水施設使用料の過  
49 徴収損害金として16万1,000円、それから特別損失として過徴収還付金・損害金9  
50 3万4,000円となっておりますが、これはどういうものですか。

51 事務局) メーターの読違いがあり、多くもらいすぎていた部分が発覚し、その分をお返しし  
52 たものになります。

53 委員) わかりました。それからもう1つ、8ページの収入の未収額ですが、この回収は職員  
54 がやっているのですか。外部委託ですか。

55 事務局) 職員がやっております。文書で督促もしますし、徴収職員が出向いてということも  
56 やっております。

57 委員) わかりました。それから5の不納欠損ですけども、1,900万円とありますが、こ  
58 れくらいで今度も続くのですか。

59 事務局) 例年2,000万円前後で推移しています。我々としてもこの縮減を図っていきたく  
60 いと思っており、徴収に力を入れていきたいと考えております。

61 会長) ほかにございますか。

62 委員) 8ページの滞納について、請求は上水と一緒にやっているのですか。上水との関係に  
63 ついて教えてください。

64 事務局) 下水道使用料は、通常は水道使用料と一緒に請求されます。ほとんどは口座引き落  
65 としになっておりますので、水道料金と一緒に下水道料金が引き落としされます。引き落  
66 としができなかった場合、2回目の引き落としを数日後にします。それで引き落としがで  
67 きなければ、水道企業団が督促状を郵送します。督促状で支払われないとすると、水道企  
68 業団の対応はそこで終わりになり、我々の方に債権の回収作業が移ってきます。我々が下  
69 水道使用料の部分だけ督促を行い、回収をしていくことになります。

70 委員) 一緒にやっているわけではないと。

71 事務局) 1回目の督促までは水道企業団でやっていただく契約になってはいますが、それ以降  
72 は別々になっております。

73 委員) 払う方としたら、一緒に請求が来たから払わなくて、下水道だけ請求が来たから払う  
74 とはならないですね。

75 事務局) 一緒にやってもらえればいいのですが、今のところはこのようになっております。

76 委員) もう1点、2ページの長期前受金、これはどこからきて、毎年切り崩していくような  
77 ものですか。

78 事務局) 長期前受金は元々何かと言いますと、下水道を整備するときに、国から、補助金を  
79 もらっており、経理上は、補助金が入ってくれば、現金、預金で整理して、もう一方の負  
80 債の部の方に計上する、資産の部に現金が入ってきた、負債の方は長期前受金で整理する  
81 ルールになっております。施設は、減価償却しますが、その減価償却見合い分を長期前受  
82 金から取り崩す仕組みになっております。

83 委員) もう1点、同じ3の(1)で、一般会計からの補助金みたいですが、どのように計算  
84 していますか。

85 事務局) 繰出しには、ルール分と言いまして、基準内の繰出しがあります。雨水への対応分  
86 は、ルール分で繰り出しています。汚水事業のうち特定の借入の償還金については、繰出  
87 しの基準内になります。それ以外の部分は、本来であれば、使用料で賄わなければならない  
88 いもので、基準外繰出しと言われるものになります。これは、赤字にならないように一般  
89 会計から繰り出しています。ルール分の計算はありますが、基準外については基本的には  
90 赤字補填です。

91 委員) 損益計算書で黒字になるように足りない分は市から補助金としてもらっていると。そ  
92 こで調整していると。

93 事務局) そうです。

94 委員) 本当は、市からの補助がなければ赤字だと。

95 事務局) はい。

96 会長) そのほかにありますでしょうか。

97 委員) 2ページの比較損益計算書の令和4年度で減っているところだけ確認したいの  
98 が、(3)雨水排水ポンプ場費、(8)流域下水道管理費、(10)総係費、この3つに  
99 ついて、中身も併せて教えていただけますでしょうか。

100 事務局) まず(3)雨水排水ポンプ場ですが、令和3年度に震災の仮設ポンプの設置分が5、  
101 400万円くらいございました。臨時的に設置したものですので、その分が4年度になっ  
102 て減っています。(8)流域下水道管理費は、4年度の使用料収入が580万円ほど減少  
103 しましたが、汚水量が減少し負担金の方も減ったということです。(10)総係費は主に  
104 人件費ですが、役職によって変わりますので、人事異動の影響を受けたものかと思  
105 います。

106 事務局) 汚水の最終処理を市がしているものもあれば、県の施設で処理しているものもあ  
107 ります。(8)流域下水道管理費は、県の施設で処理をしたものについて、費用を支払っ  
108 ています。先ほど、汚水量が減ったという話がありましたが、汚水量が減ったことに比例  
109 して流域下水道管理費も減ったということです。

110 委員) 4ページの資産の部で、流動資産の未収金がございました。令和3年度から金額が  
111 かなり減っているかと思えます。先ほど滞納の話がありましたが、そういうのも含まれて  
112 いるのかなとは思いますが、それを入れたとしても、結構大きい金額なので、内訳、内容に  
113 ついて教えてください。消費税の還付でしょうか。

113 事務局) 消費税の還付は1億円程度しか変わっておらず、使用料・負担金もそんなには変わ

114 っていない。今回キャッシュが4億円ほどになりましたが、前年度は81億円あり、潤  
115 沢にありましたので、前年度は繰入金の収入を遅らせて、年度末時点では未収金とし、5  
116 月に繰入れしました。今回はキャッシュが少なかったので3月に繰り入れました。繰出金  
117 の関係になります。

118 **委員)** キャッシュがなくなっておりますので、会計の方法と言いますか、きちんとしておか  
119 ないと。あつた時は良かったかもしれませんが、どんどん減っていくと思いますので、未  
120 収金の内容と言いますか、その精査をした方が良いかと思えます。

121 **会長)** ほかにございますか。ないとのことですので、決算の説明はこれで終了とします。

#### 122 **4 議題(1) 下水道事業経営戦略の改定に向けて**

##### 123 **ア 下水道事業経営戦略の検証**

124 **会長)** 続きまして第5(1)ア下水道事業経営戦略の検証について事務局から説明をお願い  
125 します。

126 **事務局)** 資料4を用いて説明します。現行の経営戦略につきまして、策定の背景ですが、施  
127 設の老朽化に伴って費用が増加していく中で、人口減少等により収入が減るといった背  
128 景があり、経営が厳しくなる見込みの中で計画的に経営基盤の強化あるいは財政マネジ  
129 メントを向上する必要があるということで、総合基本計画実施計画及び震災復興基本計  
130 画実施計画に基づいて策定されたものです。現行の計画は、平成28年度から令和7年度  
131 までの10年間のものとなっております。

132 この計画の中で、第3章に経営の基本方針ということで、基本目標が3つありますが、  
133 その基本目標に対して、それぞれの取組みを記載しております。取組みをどのように実施  
134 しているかをまとめたものが、今回お配りした資料4になります。

135 その中で特筆すべきところだけ説明します。1ページの上、公営企業会計法適用は、令  
136 和2年4月1日に公営企業会計に移行しましたので、こちらは完了となっております。

137 資料5ページに3農業集落排水流域接続事業とありますが、こちらは評価が未実施とな  
138 っております。左側の欄に内容を書いておりますが、令和13年度を目標に接続予定とな  
139 っており、今後実施予定ですので、未実施となっております。

140 それ以外の項目は、全て継続して実施中としており、内容については、これから、審議  
141 いただく、改定後の経営戦略の中に、一部文言を修正、あるいは集約する形にはなりませ  
142 ませんが、基本的には、継続して掲載を予定しております。検証につきまして、説明は以上です。

143 **会長)** ただ今の事務局の説明について、質問はございますか。

144 **会長)** ないようですので、次に参ります。

##### 145 **イ 下水道事業会計の現状と課題**

146 **会長)** 続きまして次第5(1)イ下水道事業会計の現状と課題につきまして、事務局から説明  
147 をお願いします。

#### 148 **※資料に基づき事務局説明※**

149 **会長)** ただ今の事務局の説明について御質問はございますか。

150 **委員)** 資料5の8ページ①のウ、不明水について、地区を絞って調査するとあります。今は  
151 15億円汚水処理に掛かっており、有収率が87%、13%の約2億円分が不明水という

152 ことで大きい金額だと思います。管の延長が600kmもある。処理場ごとの有収率が分  
153 かりますか。調査費用も莫大に掛かってしまうかと思うが、どのように絞って調査を行う  
154 のですか。

155 **事務局)** 現在、流域下水道で申しますと西部と東部がございますが、不明水が多いのは東部  
156 地区となっております。現在は修繕で年間700万円ほどの予算で、マンホールの修繕を  
157 しております。古いマンホールだと雨水が入り込んでしまいますので、その修繕をしてお  
158 ります。管については、まだ作成していませんが、ストックマネジメント計画に基づいて  
159 順次修繕を行っていくことになると思います。

160 **委員)** わかりました。

161 **会長)** ほかに何かございますか。

162 **委員)** 原価計算表について、使用料対象経費の欄は、汚水の費用ですか。

163 **事務局)** (B) 欄で雨水の経費は除いておりますので、基本的には汚水の費用です。

164 **委員)** 先ほど不明水の話がありましたが、この不明水に係る経費も汚水のなかに含まれてい  
165 ますか。

166 **事務局)** そうです。どうしても費用としては不明水と分離できない処理水量によるもので  
167 るので、含まれております。

168 **委員)** ただ不明水の費用は、本来は使用者には関係ない費用ではないでしょうか。

169 **事務局)** 関係ない費用です。

170 **委員)** この費用を今は取り除いていないということですか。

171 **事務局)** 現在は取り除いておりません。

172 **委員)** わかりました。

173 **会長)** ほかに何かございますか。

174 **委員)** 今の質問にも関わりますが、資料6の10年間の投資・財政計画について、基本的  
175 は黒字が維持できるということですか。

176 **事務局)** 一般会計から操出金を入れれば、そうなります。

177 **委員)** 同じ表の減価償却費について、令和12年度がピークとなっている。基本的にはいろ  
178 んな設備をここまで作っていき、それ以降は減っていくということですか。

179 **事務局)** いえ、基本的には汚水事業も雨水事業も継続されていきます。

180 **委員)** 令和12年度がピークとなっているのはどういうことですか。また、資料5の8ペー  
181 ジの不明水について、先日、水産加工会社の件が新聞に載ったが、あれも不明水になるの  
182 ですか。

183 **事務局)** 不明水になります。

184 **委員)** あのようなことが報道されると、ほかのところもやっているのではないかと考えてし  
185 まうが、そういったことに対する対策は。

186 **事務局)** 現状としては注意喚起くらいしかできないかなと考えております。施設の中にメー  
187 ターがあり、我々も検針に行きますが、現場でメーターを見ただけではわからないので、  
188 今回の件では夜中にメーターを逆回転させていたらしいですが、そういった現場に出く  
189 わさない限り、把握することは難しいかと思う。

190 **委員)** 過去のデータをみれば、急激に減っていればここが怪しいとなるのでは。

191 **事務局)** 例えば、今回は水産加工屋でしたが、そういうところだと、時期によって、水量

192 が大きく変わるというのが1つと、今回、捜査の対象になった期間はもちろんありますが、

193 当然、その時から始めたわけではなくて、その前からやっていたので、継続的にそういう

194 のが行われているとすると、水量の変化はなかなか見えてこないところもあるのかなと

195 考えております。今月から急に減ったとか、それがずっと続いているという場合であれば

196 わかりやすいのですが、いつからやったのかわからないような事例ですと、その辺の動き

197 というのは把握しづらいのかなと思います。

198 **委員)** それから、同じ資料58ページの近隣市町とBCPの共同策定とあるが、これは結局

199 同じように値上げをしていくということですか。

200 **事務局)** BCPは危機管理対応になります。それぞれの自治体を既に作っていますが、例え

201 ば石巻市が機能不全になって、その時に支援してもらい、お互いに助け合うような仕組み

202 を近隣の自治体と作っていく取組みになります。

203 **委員)** もう1点、下水道普及率は80.8%を目指すということだが、アンケートでも本管

204 が来ても自宅までつなげない方がいたようですが、普及率を上げることが本当に良いこ

205 となのか。その地区でつなげたくない人が多数となった場合にはどうするのか。もっと下

206 水道に接続しない家庭が増えていくと思う。今の料金を上げるとなれば、下水道から抜ける

207 のではないか。現に下水道に接続しないという方がいることを踏まえて、普及率を上げ

208 ることが本当に良いことなのか疑問に思います。その地区の住民説明をきちんとやって、

209 法律で決まっていることなのできちんと接続しますなどの周知徹底をするとか、その時

210 点で賛成か反対かなどを聞くとか、そういう事前の準備が非常に重要と感じます。それか

211 ら12ページの②のイ、資産活用について、具体的にはどのようなことを考えているのか

212 伺います。

213 **事務局)** 各自治体の事例ですが、遊休地を有償で貸与し、そこに看板を設置するとか、遊休

214 地を売却するとか、あるいは資金が潤沢にある団体は資金を運用するなどがあります。

215 **委員)** この経営戦略は、何年間でやるのか。通常会社だと経営戦略、中期経営計画を出し

216 たら3年とか5年とかで、その間にこれくらいやりますとか書いてあるが、この経営戦略

217 は抽象的にはこういうことをやりますといっぱい書いてありますが、具体的にいつまで

218 に何をやりますということをどう考えているのかを知りたい。経営戦略を作っていく中

219 で、下水道管理課が持っている具体的に何をどうするかというアイデア、具体的な取組み

220 事項が出ないと前に進まないと思います。私からは以上です。

221 **会長)** ただ今の意見に関連してほかに何かございますか。

222 **委員)** 資料5の10ページには次回以降に使用料の見直しを審議するとある。13ページに

223 は経営戦略は4年を目途に見直しを行うとあるが、これは料金改定を含むのでしょうか。

224 **事務局)** 料金は、基本には、上げるか上げないかは別として、何年かおきに見直しを検討す

225 るのが、適当とされております。今回、我々としては、4年を目途に経営戦力そのものの

226 見直しをしていきたいと思っています。その時点で、将来的な収支の見直しについても検

227 討し、料金の見直しが必要となれば、その時、また、検討することになると思いますし、

228 その時点において、まだ、その時の料金で良しとなれば、そのままになると思います。  
229 **委員)** 今年4月から水道企業団が上水道を20%値上げしましたが、今後10年間を目途に  
230 ということのようだが、この値上げについてはある程度連動するものなのか。  
231 **事務局)** 直接は連動しません。  
232 **委員)** わかりました。  
233 **会長)** ほかに何かございますか。  
234 **委員)** 総括的な考え方ですが、PDCAサイクルをこれまでもやってきたと思いますが、こ  
235 のP(プラン)ということで本市の課題が4つくらい出されて、それを目標にしてプラン  
236 を策定していくのかなと考えているのですが、その中で老朽化であったり水洗化であ  
237 ったりが皆様から意見として出されました。それを実際D(Do)、やってきましたという  
238 ことで、それを4年ごとに見ていくということなのか、それとも毎年毎年、決算という数  
239 値結果が出てきて、1年毎に見直しをかけていくのか、13ページにあるように4年ごと  
240 に中期的なスパンで見えていくのか。企業会計ですと、1年ペースでDoをチェックして、  
241 次にアクションしていくとなるのですが、そのスパンについて詳しくご説明いただけ  
242 ばと思います。  
243 **事務局)** 個々の事業につきましては、我々も1年ごとに事業評価をしております。やったこ  
244 とに対して、翌年度検証して、次の年度の予算に向けて、判断し、生かしていくというこ  
245 とでっております。PDCAサイクルの期間ということですと、1年になります。  
246 **会長)** ほかに何かございますか。ないようですので、本件につきましては終了とさせていた  
247 だきます。

248 **5 その他**  
249 事務局から次回、第3回審議会の予定および日程調整について説明した。

250 **6 閉会**  
251 司会が閉会を宣言した。  
252  
253 ○岡野会長から渡邊副市長へ答申書が提出されました。  
254

